

シンポジウム「任意後見制度のあるべき姿を考える」

2024年

4月 8日 月

13:00～16:30

当連合会では、任意後見制度がより利用しやすくなるため、様々な改善提言を行っておりますが、制度改善に向けての取組を更に積極的に進めるべく、活動を行っております。

現行の任意後見制度の運用に関する最新の知見を広く発表するとともに、将来の法改正を見据えて、あるべき任意後見制度の姿を議論する機会といたく、本シンポジウムを企画しました。ぜひご参加ください。

参加費 無料
要事前申込み

定員 80名(先着順)

開催方法 Zoomウェビナーを利用したオンライン開催

場所 弁護士会館2階講堂クレオBC

申込方法 下記URL又は二次元コードから、

4月1日(月)までにお申し込みください。

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/sympnirikouken/kouken/>



個別報告

- ①「移行型任意後見契約における諸問題～円滑な移行のための中核機関との連携や公的支援のあり方」 富永忠祐
- ②「委任者に関する諸問題～任意後見契約の代理締結と未成年者を委任者とする問題について」 根本雄司
- ③「任意後見契約と医療同意や介護方法等の希望」 佐々木育子

パネルディスカッション

- ① 入り口の問題(公正証書のデジタル化をふまえて)
- ② 効力発生時の問題(移行型の円滑な移行、任意後見の監督のあり方等)
- ③ 任意後見の変更や終了に関わる問題(代理権の追加、報酬の変更、契約目的達成時の終了等)
- ④ 今後の任意後見の改正に関する議論

コーディネーター：井上雅人

パネリスト：青木晋(新宿公証役場)、小宮山茂樹(千葉公証役場)、原啓一郎公証人(丸の内公証役場)
富永忠祐、根本雄司、佐々木育子

ご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本イベントの運営のために利用します。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会または日本弁護士連合会が委託した第三者から、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍のご案内その他当連合会が有益であると判断する情報をご案内させていただくことがあるほか、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないよう統計情報として公表することがあります。